



Team石川



小中一貫CSだより第35号 2019年2月20日 文責(松)

めざす子ども像(15歳の姿)自己の健康管理・安全管理に努め、文武両道に根気強く取り組む生徒

小学校で夢の出前授業

「12歳の姿・夢や希望をもち、意欲的に学習に取り組み、自分の考えを進んで発表できる子ども」を意識して行われました。

出前授業は工藤さんら同グループのメンバー4人らが担当した。工藤さんは夢を描く視点として「こうなったらほしい社会」「笑顔にしたい人」「自分がやってみたいこと」「自分がほしいもの」を挙げ、児童た

ち夢や夢を実現するためにすべき行動などについて考えた。この後、児童たちがマップ作りに挑戦し、画用紙ほどの大きさの紙の中心に夢を書き、その周りに夢に係り興味や関心がある事柄に関する写真などを

弘前

私の未来 夢の地図に 石川小で元教員が出前授業

はりつけていった。完成すると一人一人発表を行い、男子からは「オリンピックで金メダルを取るスキー選手。かなえるために人の倍練習する」「野球の楽しさを伝えられる野球選手。世界の人と話せるようにいろいろな国の言葉を覚える」、女子からは「優しく笑顔がすてきな看護師。きっかけは小さいころに助けていただいたから」



完成した「ドリームマップ」について発表する児童たち



東奥日報

「いつも笑顔の私でいたい」など、多彩な夢が教室に響いた。6時限かけて行われた授業の最後に児童たちは友達がいっぱいな夢を持っていて楽しい」「未来がどうなっているのか楽しみになつた」などと感想を話していた。「ドリームマップ@ひろさぎ」は本年度、同小を含め7小学校で出前授業を行った。二〇一九年二月一日

新入生説明会

4月の新年度を2ヶ月後に控えた2月1日(金)、中学校で小学校6年生28名とその保護者に対しての「新入生説明会」を行いました。中学校での学習や生活のきまり、健康についてなどについて説明しました。また、小6から中1にかけて所持率が上昇する携帯電話等を使う際の留意点や家での約束事を決めることの大切さについて、情報モラル教室も実施しました。



後藤教諭(国語)による4コマ漫画を使った体験授業。あじさいのある学習を意識しました。



昨年度の小6(現中1)の生徒会役員が学校生活について紹介。

スキー教室・調理実習の学校支援ボランティア

1月29日(火)、昨年に引き続き、乳井在住の小田桐智代さんの支援のもとに中学校1年生の調理実習を行いました。小田桐さんの丁寧な支援によって、楽しく安全に実習を行うことができました。どうもありがとうございました。



川村先生の指導のもと、ハンバーグ、ミネストローネ、オレンジゼリーを作りました。太田先生も手伝いました。

2月7日(木)、大鰐スキー場で、毎年恒例の小学校5・6年のスキー教室が行われました。保護者・地域のボランティアの皆様、計10名による指導・支援のおかげをもちまして、楽しく安全に実施することができました。どうもありがとうございました。

数学・英語の乗り入れ授業



30回ほど、算数の時間を一緒に過ごしてきたので6年生なので、乗り入れ授業をすることがとても楽しみでした。1回目の数の問題では、中1で勉強する負の数が入っていても、一生懸命、計算してくれました。2回目の角の問題では、様々な補助線を引いて考えてくれたりして、熱意が伝わりました。積極的に説明や発表をしてくれたので、とても充実した時間となりました。4月の入学を楽しみにしています。(穂元先生)

1回目の授業では、アルファベットの大文字、小文字を学習しましたが、皆さんが予想以上に知っていたので驚きました。2回目の授業でもヒントを頼りにたくさんの方が国名も答えていて素晴らしかったです。中学校では書く活動も行い、更にレベルアップします。入学したら間違いを恐れず積極的に英語を使ってみてください。皆さんとの中学校での授業が楽しみです。(外崎先生)



公民館文化祭

今年度の1日目「世代間交流・子どもの日」は、弘前市生涯学習課の「子どもの活動推進事業」【目的；



コミュニティ・スクールの活動を通じ、地域が一体となって子どもの活動を推進する環境を醸成し、子どもたちの健全育成を図る】と関連させて行われました。小学校5年のもちつき、「子どもの思い意見発表」、弘大生との交流など多彩な催しが行われました。

